

# 水処理施設、ポンプ場向け発電設備など 総合施工会社の加島工業株式会社 (名古屋市西区那古野)

今回は、水処理施設やポンプ場向けのプラント設備、電気設備、配管設備などの設置工事や管工事、土木工事一式を手がける「加島(かしま)工業株式会社(名古屋市西区那古野1-14-18 那古野ビル北館206号、加島一雄社長、☎052-562-5185)」を取材した。高い施工能力で多様な顧客のニーズに的確に応えつづけて創業48年目を迎えた、加島工業の取り組みを紹介する。

## 創業の経緯

加島工業の創業は昭和38(1963)年2月。創業者は現在社長を務める加島一雄氏である。加島家は名古屋市内で父親が鉄工業を営んでいたが、倒産したのをきっかけに、自動車関連会社に勤めていた長男の一雄氏が、個人営業として各種動力ポンプの修理業務を手がけるようになった。東京オリンピックが開催された翌昭和39(1964)年2月11日、一雄氏は「加島工業株式会社」を設立した。高い施工能力が評価を受け、水処理設備、管設備、電気設備へと次第に事業内容を拡大し、上下水道関連の工事全般を請け負うようになった。

企業理念として、『社内外での良好な人間関係を築き、オール・フォー・ワン、ワン・フォー・オール』を掲げている。

設立当初から荏原商事株式会社、株式会社荏原製作所等、荏原グループのポンプや各種水処理装置の据付工事などを中心に請け負い、施工実績を着実に伸ばしていった。

また、自家発電設備については、当初は久保田鉄工株式会社(現在の株式会社クボタ)の工事会社と



加島工業(株)の加島一雄社長

して発電設備の施工工事を請け負っていた。昭和44(1969)年9月、愛知県警本部ビル向け通信用100kVAの発電設備の設置工事をヤンマーディーゼル株式会社(現在の株式会社ヤンマー)から受注した。それ以来、ヤンマーグループの工事会社として施工工事に従事している。

## 組織体制について

加島工業では、事業範囲の拡大に伴い、昭和49(1974)年2月15日付けで愛知県知事より、機械器具の設置工事に関する「建設業登録許可」を受けた。それを皮切りとして、同様に、昭和58(1983)年9月12日付けで「電気工事業登録許可」を、平成8(1996)年4月1日付けで「管工事・水道施設工事業登録許可」を、平成16(2004)年1月20日付けで「とび・土木工事業登録



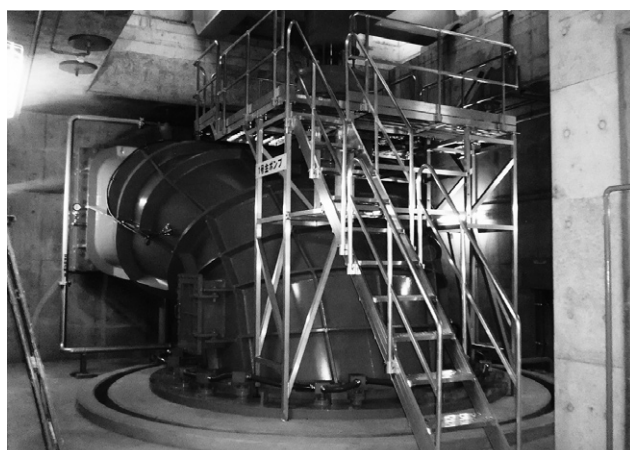
加島工業(株)の春日井工場



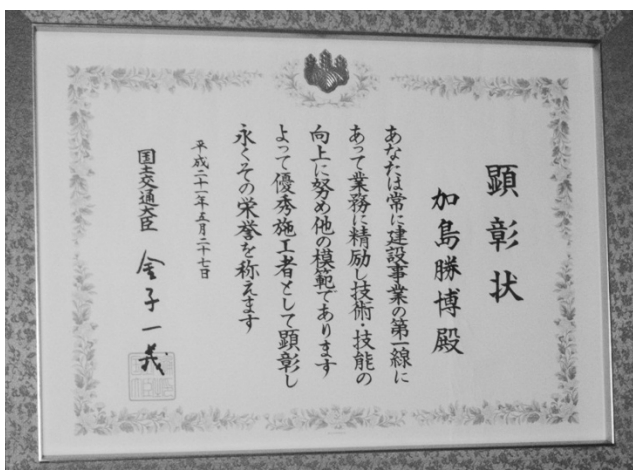
工場屋根に設置された太陽光発電システム



名港管理組合／堀川口排水機場に設置した横軸ガスタービン（二軸式）1,029kWの主原動機及び排気消音器とダクト



名港管理組合／堀川口排水機場の口径φ 2,800 mmの立軸軸流（可動翼）主ポンプ



従業員が受賞した建設マスターの顕彰状

工管理技士」2名、「1級電気工事施工管理技士」1名、「危険物取扱者」4名など。さらに、国土交通大臣による格別に優秀な技術者及び技能者の顕彰制度である「優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）」として1名、愛知県知事表彰として2名、愛知県名古屋電気工事協会会長表彰として3名が、それぞれ顕彰を受けている。

## 豊富な工事实績

加島工業では創業以来、上下水道などの水処理施設は現代の私達には欠かせない最も重要な「ライフライン」の1つとして位置づけ、同社はライフラインを造り・守るという工事会社としての仕事を通じて社会貢献を図っている。余談だが、加島工業では長年にわたり、乳児院や養護施設、特別養護老人ホームなどに対する寄付行為を実践している。企業が行うボランティア活動のさきがけといえるもので、今後も教育事業・社会福祉事業の支援を継続していくこととしている。

多岐にわたる優秀な技術資格・技能資格者を多数抱え、質の高い施工を実施できる点が同社の最大の強みである。それは施工実績にも如実に表れている。平成13（2001）年度以降の工事实績をみると、浄水場・配水場・排水場・ポンプ所・病院施設・空港施設・プラント施設・各種商業ビルなど向けに、合計で200件超の電気工事・機械工事・土木工事を受注している。特に最近では、東京・八重洲口にオープンした地上250mのツインタワー『グラントウキョウ・ノースタワー & サウスタワー』のノースタワー14階に、ヤンマー製2,500kVAの非常用ガスタービン発電装置設置工事を、加島工業が担当したことで注目を集めた。

引き続き、加島工業では総合エンジニア企業として、各種プラント・設備の据付工事、現地での試運転・調整までを一貫して担っていく。併せて、地球温暖化防止にも寄与するとの観点から、「太陽光発電システムの普及促進」にも尽力していく。既に春日井工場では太陽光発電システムを導入しており、春日井市地域における広告塔として連日PR活動に努めている。

許可」を、それぞれ受けている。

現在では、水処理装置、ポンプ、送風機、ディーゼルやガスタービンを搭載する陸用の自家発電装置、環境装置に関連する各種製品の販売修理、それら装置の設置工事から土木工事にいたるまで幅広く事業に取り組んでいる。従業員数は19名。これに下請などを合わせた最大稼働従業員数は150名程度となり、大規模な設置工事でも対応できる体制を整えている。

生産拠点としては「春日井工場（愛知県春日井市味美上ノ町2008番地）」があり、ポンプや送風機、発電装置の組み立てやメンテナンス業務などを一括して担当している。また、東京、大阪にそれぞれ出張所を開設している。

## 高度な施工能力

加島工業が備える高い施工能力を裏付けるものとして、国家資格をはじめとする、多分野にわたる技術資格者・技能資格者の存在がある。管理部門を含めた従業員数19名の組織規模に対して、同社が抱える各種資格保有者数は延べで50名近い。

主なものとして、500kW未満の予備発電装置の工事を取り扱える国家資格である「特種電気工事資格者」6名のほか、「管理技術者」5名、内発協が実施する「自家用発電設備専門技術者」5名、「電気主任技術者」及び「第1種電気工事士」各1名。また、「1級管工事施